

【銀イオン Ag⁺について】

銀は、古代から水等の腐敗を防ぐために使われていました。

その殺菌効果や抗菌効果は、かなり昔から知られていましたが、聖水がなぜ腐らないか、ということから銀の器の研究が始まりました。

現在は、スプーン・ナイフ・フォーク等の食器類から、ケーキの装飾に使われる銀色の粒のアザラン等、様々なところで使われています。

有害な情報は目にすることが無く、**人や環境に無害で安全**なことが分かりますね。

※よく勘違いされるものに「水銀」がありますが、「水銀」は、元素記号も、ここでいう「銀」とは全く別の物質であり、こちらは有害となりますのでご注意ください。

著しい進歩を遂げている科学の世界では、銀を電気分解させることにより、プラスの電荷をもった銀を銀イオン Ag⁺として、感染症に対しても活躍してきています。

この、「プラスの電荷をもった（電荷を帯びた）」ということがとても重要で、**マイナスの電荷をもったウイルスや菌等に付着して、活動を不活化させる**んです。

この性質は、あらゆるウイルスや菌にも有効で、銀の除菌効果を、触れた瞬間から強力に発揮していきます。

強い蒸発力を持つアルコールとは違い、銀は長く抗菌力が持続するのも特徴の一つです。

環境サイエンス社の銀イオン Ag⁺製品は、防衛医大とも銀ナノ粒子を開発し、SARS ウィルスでパニックになった際も国内で活躍した製品ですので、安心してお使い頂けます。